

令和3年度 学校経営計画

1. 校訓

強く 明るく 正しく

強い心 元気な姿 正しい判断と行動

2. 学校教育目標

心豊かで たくましく生きぬく 山中っ子の育成

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する

3. めざす児童像

- ・ 確かな学力のある子（知） 学びに向かう人間性の高まりを
- ・ 思いやりのある子（徳） 自他（人・環境）を思いやる心を
- ・ 健やかな子（体） 健康への関心と健康・体力の増進を

4. 「行きたい、行かせたい、行ってみたい 山中小学校」を目指して

子どもも教師も行きたいと思う 山中小学校
保護者が行かせたいと思う 山中小学校
地域の方が行ってみたいと思う 山中小学校

AI 技術が進化し、様々な面でのオンライン化が促進されるなど社会が大きく変化している中で、学校の役割の再確認が必要となってきました。「学校」は子どもや教師にとって、やりがいや成長を感じられる楽しい場所であり、行きたいと思う場所であればなりません。また、学校は地域の方にとっても、関心を持ち行ってみたいと感じる場所であり、保護者の方々にとっては、温かい気持ちで子どもたちを支援できる居心地の良い場所でありたいと考えます。そうした願いをもち、今年度の学校づくりを進めていきます。

○子どもも教師も行きたくなる学校とは

- ・ 楽しい学校生活や授業づくりに主体的に取り組み、自慢の学校を創る
- ・ 友達・仲間とのよりよい人間関係づくり（コミュニケーション、挨拶）

○保護者が行かせたいと思う学校とは

- ・ 一人一人を大切にできる学校（個に応じた指導）
- ・ 信頼できる先生がいる学校（保護者との連携）
- ・ 安心、安全な学校（登下校の安全、規律ある学校生活）

○地域の方が行ってみたいと思う学校とは

- ・ 気持ちのよい挨拶、「ありがとう」の言葉があふれる学校
- ・ 地域に開かれた学校

5. 本年度の重点事項

子どもたちが目当てを持って主体的に取り組み（子ども自身が学ぶ）、友と共に自分の成長を実感しながら（子ども自身が育つ）、子どもたちと教職員がともに知・徳・体のバランスのとれた豊かな体験ができる楽しい学校づくりを行います。

（１）確かな学力の向上をめざして 【生きて働く知識・技能】【未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力】

- ・目指す授業像（子どもが自ら学ぶ姿）を子どもたちと教師が共有し、コミュニケーションを図りながら、学び合いの質を高め、協働的に問題解決に取り組みます。
- ・学校研究を通して、「話す・聞く」力を高め、コミュニケーション力の向上につなげていきます。
- ・ICT を効果的に活用するための授業をデザインするとともに、タブレットを学びのツールとして活用できるスキルを計画的に習得していきます。

（２）子供一人一人の心身の育成をめざして 【学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性】

- ・教科等での学びを他の教科で生かせる場面はないか、総合的な学習の時間や生活科の中で他教科の学びを生かせる場面がないかという視点で授業を構想します。
- ・縦割り活動や全校活動において、「具体的な目当て」を設定して取り組み、「振り返りを次の目当てにつなげることを」大切に、主体的な行動力をつけていきます。
- ・豊かな人間関係の基盤となるあいさつや言葉遣い・返事の大切さを共通理解し、習慣化を図ります。

（３）信頼される学校をめざして 【開かれた学校・特色ある学校・安全安心】

- ・地域の人材を活用したり地域の活動に参加したりして、ふるさと学習を推進します。
- ・子どもたちの安全・安心にかかわる取組について、研修会等で実際に役立つ知識技能を高めると共に、家庭・地域との連携を推進していきます。
- ・山中小学校ならではの特色ある活動を継続し、保護者・地域へ発信していきます。

6 望ましい教職員集団

「教職員が子どもの成長を願い、力を合わせることで学校組織の役割」という意識で、「組織的」「創造的」「効率的」な学校運営に主体的に参画していきます。

【組織的】・・・『教育活動の成果は子どもの姿』を合い言葉に、学校でおこることは、教職員全体の問題ととらえ、ともに解決に取り組みます。

【創造的】・・・教師自身が学び続ける意欲を持ち、前例踏襲にとらわれず、考えたことを思いきってチャレンジしていきます。

【効率的】・・・チームで対応する意識の向上、仕事の効率化を図るための工夫等による働き方改革を進めていきます。

- ・自らの働き方を常に見直し、心身共に健康な状態で勤務できるようにします。
- ・業務の平準化を図り、過度な超過勤務を無くしていきます。